

水痘（みずぼうそう）の予防接種について ~ 説明書 ~

1. 水痘について

水痘は、水痘・帯状疱疹ウイルスが原因の感染症です。ほとんどの人が幼児期から学童期にかけてかかりますが、1歳以下の乳児もかかる場合があります。水痘や帯状疱疹の人に接触してから約2週間の潜伏期の後、発熱とともに、おなかや背中に赤い虫さされのような発疹ができ、その先端に水をもつようになります。発疹は4~5日間増え続け、体や顔・髪の中・口の中にまで広がっていきます、発疹は2~3日間で乾燥し、かさぶたとなります。かさぶたは2週間前後でとれ、少し痕が残りますが、ほとんどが半年ほどで消えていきます。

健康な子供にとって水痘は比較的軽い病気ですが、まれに脳炎・髄膜炎を伴って重症化することがあります。またアトピー体質の子は皮膚が弱いため発疹が強く出ることがあります。

2. 水痘ワクチンの接種について

水痘ワクチンの接種は、任意で受けてほしい方が自費で受けることになっています。

接種年齢は、生後12ヶ月以上の方が対象です、成人になってから罹患すると重症になる危険性が高くなりますので、水痘にかかっていない大人の方でも受けられます。

水痘ワクチンの有効率は約90%です、約10%の方は抗体ができず罹患する可能性があります、発症した場合でも多くは軽症ですむとされています。

3. 水痘ワクチンの接種を受けた後の副反応

接種後1~3週間経った頃、時々発熱・発疹がみられることがありますが一過性で、通常、数日中に消失します。また、まれに局所症状として、発赤・腫れ・硬結などが接種部位にあらわれることがあります。

4. 接種を受けてはいけない人

明らかに発熱している人

重い急性の病気にかかっている人

その他、医師が接種に不適當な状態と判断した人

5. 接種を受ける時の注意

接種はからだの調子が良い時にだけ受けて下さい。

元気がない・機嫌が悪い・食欲がすまないなど、普段と変わったことがあれば、医師に相談して下さい。

そのような時は無理をせず、次の機会に受けて頂いても結構です。

体温は、家を出る前に測ってきて下さい。

入浴は、できるだけ接種前日に済ませ、からだを清潔にしておいて下さい。

食物アレルギーのある方は、医師によく相談して下さい。

「母子健康手帳」を接種を受ける日に持参して下さい。

6. 接種を受けた後の注意

接種当日は激しい運動は避けて下さい。

接種した部位は清潔に保って下さい。

もし、高熱・けいれんなどの異常な症状が出た場合には、速やかに医師の診察を受けて下さい。

水痘ワクチンは生ワクチンですので、接種後1ヶ月近くは体内で弱毒ウイルスが生きています。

この間は副反応の発現や体調の変化に気をつけて下さい。